

平成22年度 芸術文化事業の状況

- ・ギャラリー、視聴覚ホール(定員 198 名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター及び文化情報プラザは文化フォーラム春日井・文芸館
- ・市民会館(定員 1,151 名)

1 自主文化事業

(1) 文芸系事業

事業名称	日時・場所など	事業内容	入場料等
日本自分史センター運営	通年 日本自分史センター 9:00～19:00 来訪者 232 人	全国から寄贈される自分史図書で、地下書庫にも多数保存。地域別、年代別など、自分史図書のデータベースづくりを進めるとともに、貸出にも対応。 蔵書数／ 6,973 タイトル 9,641 冊 寄贈受付／ 119 タイトル 208 冊	利用無料
自分史相談	毎週火・金曜日 13:00～17:00 相談件数 148 件	自分史づくりに関する各種相談を実施。 相談員／安藤紀夫、芳賀倫子 相談日数／98 日	相談無料
自分史フェスタ	2/20(日) 13:30～16:00 市民会館 入場者 504 人	「いにしえを想えば未来が見える」～心に染みた唄・詩&忘れられない友・師・家族～ と題し、自分史人口の拡大をめざし実施。 第1部は掌編自分史の掲載作品3編について、作者の紹介や思い出、作品の朗読を、映像を交えながら公演に取り入れ、自分史の面白さを伝えた。第2部はゲスト歌手上杉香緒里さんが、歌と自分史を披露。 司会／山崎聡子(東海ラジオアナウンサー) ゲスト(掌編自分史作者)／美濃真智子(東京都)、中村千代子(香川県)、望月ひろ子(春日井市)	入場無料

公募自分史	募集 7/1(木)～9/30(木) 発刊 1/31(月)	掌編自分史 400 字詰原稿用紙 5～8 枚程度の短い自分史の全国公募。 今年度のテーマは、「わたしの宝 物」。宝物になったあの時の思い出 が今にどう生きているか。作品集を 制作。 応募総数／200 作品 入選／42 作品	応募無料 作品集 1,000 円
自分史講座		自分史を書くために、文章作りの基 本、原稿用紙の使い方等の基本か ら、自分史作りのポイントなどを習 得する講座。	
エッセイ講座	6/3(木)～8/5(木) 19:00～21:00 文化活動室 受講者 22 人	自分史普及のために、比較的身近な イメージのあるエッセイを題材に、 文章表現のポイントをわかりやす く解説。日々の生活や自分自身を新 たな視点で見つめなおすことで、表 現力を高めた。全 10 回講座。 講師／芳賀倫子(日本自分史センタ ー相談員)	受講料 5,000 円
自分史入門 講座	11/19、26、 12/3、10、17(金) 文化活動室 受講者 7 人	自分史について分かりやすく説明 し、書き方や製本方法を指導するこ とにより、自分史活動の普及を図っ た。全 5 回講座。 講師／平岡俊佑	受講料 2,000 円
自分史大学 in か すがい	集中講座 5/4(火)～5(水) 文化活動室 9/8(水)～9(木) グリーンパレス春日 井 受講者 3 人	短期集中講座と通信添削を組み合 わせた長期講座。市外の自分史志望 者を育成し、全国的な自分史活動の 普及の起点とした。 講師／安藤紀夫(日本自分史センタ ー相談員)	受講料 25,000 円
自分史作品通信 添削講座	通年 利用者 3 人	通信添削を郵便等で受け付け、来館 が難しい人々をフォロー。	原稿用紙 ～5 枚 3,000 円 ～10 枚 5,000 円 ～15 枚 6,000 円

(2) 美術系事業

事業名称	日時・場所など	事業内容	入場料等
世界の児童画展	4/27 (火)～5/9(日) 10:00～17:00 ギャラリー、交流アトリウム 入場者 2,953 人	児童画を通じ、文化の相互理解と子どもたちが創り出す文化の支援を目的として世界各国の子どもたちの作品を集め展覧会を開催。67 か国から 161 点の作品と春日井市内の小中学生の作品 207 点を展示。	入場無料
【関連企画】 ①子どもと母のための朗読劇	4/29 (木)、5/9 (日) 14:00～15:00	交流アトリウムにおいて、参加費無料の「こいのぼりをつくろう」をはじめコンサートや朗読劇によって	
【関連企画】 ②音楽で遊んじゃおう！	5/1 (土)、3 (月)、 4 (火)、5 (水) 14:00～15:00	親子が楽しめる展覧会を開催。 講師／ ①浅井栄子 (フリーアナウンサー)	
【関連企画】 ③こども合唱	5/2 (日)、8 (土) 14:00～15:00 入場者 ①～③計 970 人	②コンサートグループ「花の詩」 ③春日井児童合唱団 ④保育士OB	
【関連企画】 ④こいのぼりをつくろう	4/29 (木) 5/1 (土) ～5 (水)、8 (土)、 9 (日) 10:00～17:00 入場者 651 人		
なんちゃって！？ルーヴル美術館	7/24 (土)～8/1(日) 10:00～18:00 交流アトリウム 入場者 1,871 人	有名な彫像のレプリカ 6 体を名古屋芸術大学から借用し交流アトリウムに展示。 美術に関心を持つ人以外をも足を止めさせ、自由にデッサンできる環境を提供。	入場無料
【関連企画】 デッサン教室	7/24 (土)、7/25 (日) 10:00～12:00 受講者 20 人	「なんちゃって！？ルーヴル美術館」の彫像を講師の指導のもとデッサン。 講師／石田達郎 (名古屋芸術大学非常勤講師)	受講料 500 円

	7/31 (土)、8/1 (日) 10:00~12:00 受講者 19 人		
ふらっとアニメーション	9/4 (土) ~12 (日) 10:00~17:00 ※土曜のみ 20:00 まで ギャラリー、交流アトリウム 入場者 299 人	近年、注目を集める自主制作アニメーション作品の上映を中心に、制作の過程で用いられる絵コンテや原画を展示する上映展覧会として開催。 また、幅広い世代に親しみを持ってもらうため、ファミリー、ヒューマンリアリティ、地域のアニメーションの3つのテーマを設けてプログラムを構成。 監 修：吉田雅彦 協 力：CALF、愛知芸術文化センター、名古屋学芸大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学	一般 300 円 中学生以下無料
【関連企画】 トークイベント 1	9/4 (土) 17:00~ 交流アトリウム 入場者 30 人	ゲスト/大山慶・水江未来(出品作家、CALF)	入場無料
【関連企画】 トークイベント 2	9/11 (土) 14:00~ ギャラリーホワイトエ及び附属室 入場者 23 人	ゲスト/伏木啓(名古屋学芸大学映像メディア学科助教)	入場無料
【関連企画】 コマ撮りたいけん「ちょこっとアニメーション」	9/5 (日)、9/12 (日) 10:00~12:00 14:00~17:00 ギャラリーホワイトエ 体験者 15 組	展覧会に訪れた人が、アニメーションの仕組みを紙人形のコマ撮りアニメで理解できる体験会。 制作アドバイザー/江口詩帆(出品作家)	入場無料

<p>伊藤さんを探せ！</p>	<p>【ワークショップ】 12/23(木・祝)、2/26(土)、2/27(日) 文化活動室、会議室 参加者7組</p> <p>【展示】 3/5(土)～21(月) ギャラリー</p> <p>入場者1,563人</p>	<p>苗字という一定のつながりを持つものに着目し、春日井市内で、最も多い苗字をとりあげることによって、この地域の特色とあり方を熟考し、人と人との関係性(つながり)を導き出す。</p> <p>地域の人々に広く親しまれる展覧会。</p>	<p>受講料 500円</p> <p>入場無料</p>
<p>交流アトリウム空間 創出プロジェクト Shift Cube</p> <p>①久保智史小展 ②山下拓也展 今やコアラの鬼ヶ島 ③西村佳子展 ④山本志保展 ⑤石田典子展</p>	<p>開催期間</p> <p>①5/18～6/27 ②7/6～8/15 ③10/13～11/28 ④12/4～1/16 ⑤3/31～5/22</p> <p>9:00～20:00 交流アトリウム</p>	<p>地域の大学連携事業として交流アトリウムに設置された可動式展示スペース Shift Cube で行う常設展示事業。</p> <p>さまざまな現代美術を文化フォーラム春日井のエントランス空間に展示。身近な鑑賞の機会を設けるとともに優れた地域の芸術家を紹介。出品者/久保智史(油画、インスタレーション)、山下拓也(インスタレーション)、西村佳子(油画)、山本志保(油画、インスタレーション)、石田典子(版画)</p>	<p>観覧無料</p>
<p>芸術講座</p>		<p>さまざまな素晴らしい芸術に関心がある方へ、多様な芸術文化を豊富な視覚資料や体験会、一流講師を通し紹介。</p>	
<p>王朝文学と季節のくらし</p> <p>①長寿と若さへの願い ②恋人たちの季節 ③春の訪れを知る</p>	<p>①9/25(土) ②11/27(土) ③1/22(土) 13:00～14:40 視聴覚ホール</p> <p>受講者</p> <p>① 63人 ② 64人 ③ 77人</p>	<p>季節感あふれる宮廷行事や感性は、色あせない魅力を今に伝えている。「源氏物語」や「枕草子」などに描かれた宮中行事を通して、移りゆく四季の魅力を受けとめる感性を磨く。</p> <p>講師/鈴木紀子(京都橘大学名誉教授)</p>	<p>受講料 900円 3回通し 2,500円</p>

【関連企画】 ペンで「源氏物語」	11/17 (水) 14:00～16:00 文化活動室 受講者 20 人	「書のまち 春日井」にちなみ、王朝文学の題材の中から、書道に関するワークショップを開催。 講師／中村立強 (春日井市美術協会会長)	受講料 500 円
【関連企画】 小筆で「源氏物語」	11/24 (水) 14:00～16:00 文化活動室 受講者 20 人		受講料 500 円
【関連企画】 貝絵を描きましょう	1/22 (土) 10:00～12:00 文化活動室 受講者 25 人	千年前と同じ優雅な時間を過ごすことで、くらしのなかの季節感や余暇のあり方を見直す。 講師／小松節子	受講料 1000 円
【関連企画】 古来の遊び 貝合わせ体験	1/22 (土) 15:00～17:00 和室 受講者 20 人	(日本貝アート協会)	参加無料
文化と地域講座		地域に関連・関係する文化について幅広く学ぶ。能動的に創り出す。	
①ぐるっとフォーラムMAP～まちの宝探し～	5/29、6/12・26、 7/10・17、9/11 (土) 13:00～17:00 会議室、文化活動室、周辺地域 受講者 11 人	歴史的・文化的な視点からまちを歩き、参加者が見つけた素材を生かし、市販の地図では掲載されていない、春日井駅～文化フォーラム春日井周辺の地図を制作。 ファシリテーター／NPOまちデザインラボ	受講料 200 円 6 回通し 800 円
②文字もじ書くかくシリーズ		「書のまち春日井」にちなみ、3本のワークショップシリーズを通して、多様な文字文化・書く文化を体感。	
トンパ文字書道教室	10/23 (土) 15:00～17:00 会議室 受講者 34 人	トンパ文字とは、少数民族ナシ族に受け継がれ、世界で唯一現存する象形文字。形や意味などが最も完全に残っている、生きた象形文字で、世界で唯一色によって意味を変える。 日本を代表するアートディレクターを講師に迎え、絵文字に近い象形を学び、文字の表現方法の幅を広げる。 講師／浅葉克己 (アートディレクター)	受講料 1,500 円

<p>活版印刷 (ワークショップ)</p>	<p>11/14(日) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00 文化活動室</p> <p>受講者 ①7人 ②10人</p>	<p>活版印刷とは、鉛や木で作られた活字を組み、圧をかけることにより印刷する技術。伝統ある技術に直接触れ、「文選・組版・印刷・解版」と全ての流れを体験。</p> <p>講師／大石 薫 (活版技師)</p>	<p>受講料 2,000 円</p>
<p>【関連企画】 活版印刷の歴史と未来 (展覧会)</p>	<p>11/13(土)・14(日) 9:30~17:00 ギャラリー</p> <p>受講者 197 人</p>	<p>体験だけでなく、観賞・解説により、歴史的な経緯を知る。 20、30代やデザイン、芸大関係の観賞者が多く、 財団の展示事業における観賞者の幅が広がった。</p>	<p>入場無料</p>
<p>西洋書道への招待 ～羽ペンと羊皮紙 でクリスマスカード～</p>	<p>12/5 (日)、12 (日) ①10:00～ ②14:00～ 文化活動室</p> <p>受講者 ①8人 ②7人</p>	<p>【羊皮紙】 羊皮紙は、動物の皮を薄く伸ばし、やすりで磨いてつくります。 現在、当たり前のように使い、すぐに捨ててしまう紙だが、今の紙に至るまでの歴史や文化を知り、紙と表現の関係について考える。</p> <p>講師／八木健治 (羊皮紙研究家)</p> <p>【羽ペン】 万年筆の原理を知ることができる。 自ら作ったペンは、書き味も抜群。 羽ペンを作ることにより、道具の工夫と手書きの素晴らしさを見直す。</p> <p>講師／岡本紀子 (カリグラファー)</p>	<p>受講料 3,600 円</p>

<p>あいち子ども芸術大 学 2010</p>		<p>新たな価値を創造する人材を育む ため県内の小・中学生を対象に芸術 家との交流を通じ、文化芸術に親し む体験型講座。</p>	
<p>アトリウムを海に しよう！プロジ ェクト</p>	<p>【制作】 ①8/19（木）、②20 （金） 13:30～16:00 交流アトリウム</p> <p>参加者 ①23人 ②22人</p> <p>【展示】 8/21（土）、22（日） 交流アトリウム</p>	<p>学校や家庭では提供できない大き な空間で制作・演出することによ り、自由に発想し、全身をフルにつ かって表現。</p> <p>自分の作品が大空間を演出してい ることを目のあたりにし、自分の感 性に自信を深めるとともに、創作と いう緩やかなルールを通して、経験 や感動を体感。</p> <p>主催／財団法人かすがい市民文化 財団、あいち子ども芸術大学 2010 実行委員会</p> <p>講師／中島 崇（現代美術家） 協力／王子製紙株式会社 TOKIO OUT of PLACE</p>	<p>受講料 500 円</p> <p>観覧無料</p>
<p>わたしもいんさつ 屋さん！ カッパンいんさつ でメッセージカー ドをつくろう！</p>	<p>11/13（土） ①10:00～12:00 ②14:00～16:00 文化活動室</p> <p>参加者 ①9人 ②9人</p>	<p>活版印刷とは、凸型の活字を組んで 印刷する、広く親しまれた印刷物の 作り方。その手触り・風合いはとて も美しく、パソコンの印刷物とは、 違った味わいがある。“新しい表現 方法”として注目されている活版 を、子どもたちが体験。</p> <p>主催／財団法人かすがい市民文化 財団、あいち子ども芸術大学 2010 実行委員会</p> <p>協力／朗文堂 アダナ・プレス俱樂 部 講師／大石 薫（活版技師）</p>	<p>受講料 500 円</p>

(3) 舞台系事業

事業名称	日時・場所など	事業内容	入場料等
ミュージカル黒執事 ～The Most Beautiful DEATH in The World 千の魂と堕ちた死神 ～	①5/15 (土) 13:00～15:30 ②5/15 (土) 18:00～20:30 ③5/16 (日) 13:00～15:30 春日井市民会館 入場者 ①531人 ②861人 完売 ③919人 完売	19世紀イギリスを舞台に、若き伯爵とその執事の活躍を描く人気漫画「黒執事」のミュージカル版を上演。2公演が即完売する程の高人気につき、急遽、追加公演を決定し、3回上演となった。春日井市民会館史上最大かつ最新の舞台セットが持ち込まれ、同館舞台設備の限界に挑む意欲的な取組みともなった。また、他は東京と大阪でしか開催されない本格的な商業演劇公演が、春日井市で開催されるということ自体も話題となった。 出演／松下優也、西井幸人、佐伯太輔、松本慎也、植原卓也、永岡卓也、藤田玲他	S 6,300円 A 5,800円
山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート 2010 共催：(有)プラネットアーツ	6/26 (土) 18:30～20:30 春日井市民会館 入場者 849人	日本を代表する世界的なジャズピアニストの山下洋輔氏をリーダーに、16名の気鋭のトップ・ミュージシャンたちにより特別編成されたビッグ・バンドの再演。山下氏の「春日井でもう一度やりたい」という希望により開催が決定。 出演／山下洋輔、金子健、高橋信之介、エリック宮城、佐々木史郎、木幡光邦、高瀬龍一、松本治、中川英二郎、片岡雄三、山城純子、池田篤、米田裕也、川嶋哲郎、竹野昌邦、小池修	一般 6,500円
松竹大歌舞伎	7/25(日) ①11:30～14:00 ②15:30～17:40 春日井市民会館 入場者 ①1,093人 完売	全国公立文化施設協会統一企画の東コース。この巡業中、松本幸四郎の勸進帳が全都道府県を制覇し話題にもなった。関連企画としてセミナーを開催し、事前の盛り上げを工夫した。また、春日井駅と会場を結ぶシャトルバスを運行し、サービス	SS 7,500円 S 6,500円 A 5,500円 B 4,500円 C 2,500円

	②927 人	向上にも努めた。 出演／松本幸四郎、中村梅玉、中村魁春 他	
【関連企画】 歌舞伎入門セミナー	6/13 (日) 14:00～ 視聴覚ホール 入場者 157 人	「花魁の華やかな世界や大奥のファッションは、歌舞伎が手本になっていた」という切り口で、歌舞伎が江戸文化にどのような影響を与えたかをユニークな視点で解説。 講師／小栗幸江 (美濃歌舞伎博物館・相生座館長)	入場無料
茂木大輔の生で聴く “のだめカンタービレの音楽会” ベスト版 支援：文化庁 (平成 22 年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業)	① 7/31 (土) 桃ヶ丘 edition 15:00～17:30 ② 8/ 1 (日) Paris edition 15:00～17:30 春日井市民会館 入場者 ①1,007 人 完売 ②1,033 人 完売	初演から 5 年、全国で 52 公演を重ねた当財団が制作する「のだめ音楽会」の集大成を 2 日間にわたり開催、全国から「のだめ音楽会」ファンが集まった。関連企画として、映画会とトーク・ショーを開催し、全国ツアーの成果を市民へ還元することにも取り組んだ。制作過程を映像ドキュメンタリーとして記録 (DVD) にも残した。 出演／茂木大輔 (指揮)、名古屋フィルハーモニー交響楽団、高橋多佳子 (ピアノ)、宮谷理香 (ピアノ)、野上真梨子 (ピアノ)、磯絵里子 (ヴァイオリン)	S 6,500 円 A 5,500 円
【関連企画】 映画“魔笛”上映	6/11 (金) ①14:00～ ②18:15～ 視聴覚ホール 入場者 ①89 人 ②68 人	漫画「のだめカンタービレ」のアンコール編に登場するモーツァルトの傑作オペラ「魔笛」を、映画化した「魔笛」(2006 年、イギリス) を上映。遊び心一杯の映像と新解釈で展開するミュージカル仕立ての物語が本公演の盛上げを演出した。	一般 900 円
【関連企画】 音楽会が出来るまで～“テオ君”役のナイショ話 vol.2 & のだめ音楽会フ	7/2 (金) 18:30～ 視聴覚ホール 入場者 60 人	オーケストラの裏方にスポットを当て、普段、見聞きすることがない、コンサート制作におけるオーケストラやコンサートの知られざる裏側を紹介。また、本公演に漏れた逸	一般 500 円

イルムコンサート		作スライドもライブ録音とともに上映。 講師／名古屋フィルハーモニー交響楽団 林仁志（ライブラリアン）、小出篤（企画制作）	
第26回日本舞踊鑑賞会 共催：春日井市日本舞踊協会	8/25（水） 13:00～15:40 春日井市民会館 入場者 761人	春日井市日本舞踊協会との共催による鑑賞会。平日にも関わらず、多くの来場者が日本舞踊を楽しんだ。特に特別ゲストの市川染五郎氏が踊ったカチカチ山をベースにした舞踊「玉兔」には、大きな拍手が送られた。 出演／市川染五郎（特別ゲスト）、春日井市日本舞踊協会	
東京バレエ団「ジゼル」 助成：地域創造（平成22年度地域の文化・芸術活動支援事業）	9/19（日） 18:00～20:30 春日井市民会館 入場者 664人	国内最高峰と言われる東京バレエ団による、古典バレエの代表的名作「ジゼル」を全2幕上演。春日井市民会館では30数年ぶりの本格的なバレエ公演。ジゼル役に世界的評価の高い斎藤友佳理を迎え話題にもなった。発表会などで春日井市民会館を利用されている市内バレエ教室の先生方に、宣伝や券売面でご協力いただいた。 出演／斎藤友佳理、吉岡美佳、井脇幸江、上野水香、高岸直樹、木村和夫、後藤晴雄 他	S 7,000円 A 5,500円 B 4,000円
【関連企画】東京バレエ団トークイベント「バレエ・プレリユード」	8/26（木） 18:00～20:00 春日井市民会館 参加者 54人	第1部：ダンサーによるトークイベント。出演ダンサー自ら「ジゼル」のDVDを流しながらの解説と、参加者による質疑応答は、親しみのある内容で好評だった。（約60分） 第2部：ダンサー指導による美しくなるためのバレエ・ストレッチ講座を市民会館舞台上で行った。（約75分） 講師／許山麻有、森彩子	500円

<p>ピアノと物語「ジョルジュ」</p>	<p>9/25 (土) 14:00~16:30 春日井市民会館 入場者 507人</p>	<p>ショパン生誕 200 周年記念。ショパンと恋人ジョルジュの8年間のドラマを、ジョルジュと彼女を支えた弁護士ミッシェルとの往復書簡を通して描いたドラマ・リーディング。ピアノ演奏をバックに上演。制作は、杉並区の公立ホール「座・高円寺」を管理運営するNPO法人劇場創造ネットワーク。自主制作作品を全国展開するホール同士の良い交流の機会にもなった。 出演／竹下景子、真那胡敬二、清塚信也 (ピアノ)</p>	<p>一般 3,800円</p>
<p>平成 22 年度東海北陸地区公立文化施設協議会自主文化事業・技術研究会および平成 22 年度東海北陸ブロックアートマネジメント研修会 共催：文化庁／全国公立文化施設協会</p>	<p>10/6 (水) 13:15～ 10/7 (木) 16:00 視聴覚ホール 参加者 145人</p>	<p>持ち回りで開催される「東海北陸地区公立文化施設協議会自主文化事業・技術研究会、およびアートマネジメント研修」の会場となったことから、共催として行い、財団職員も講師として参加。 会場館としてだけでなく内容にも関わり、参加者は例年の3倍近くになった。「春日井市」「かすがい市民文化財団」を知ってもらう機会にもなった。 講師／高橋正浩 (ハンプトンジャパン)、たいらじょう (人形劇俳優)、藪田哲也 (幸田町民会館)、増田正也 (中京テレビ放送)、三田村泰和 (中日新聞)、小島祐未子 (ぴあ中部版編集部)、森隆一郎 (いわき芸術文化交流館アリオス)、安田江 (兵庫県立芸術文化センター)、沖山高之 (リンクステーション)、靱山勝人 (長久手町文化の家)、衛紀生 (可児市文化創造センター)、松浦茂之 (三重県文化会館)、ザ・ニュースペーパー (社会風刺コント集団)、丹羽功 (中京大学文化市民会館)、風</p>	

		井伸夫（愛知県春日井警察署警備課）、浅野芳夫（稲沢市民会館）、青地真巳（テンプスタッフ・ピープル）	
春日井まつり前夜祭 アコースティックナイト in 春日井 主催：春日井まつり実行委員会／春日井市 特別協賛：大垣共立銀行 ※春日井まつり実行委員会より受託	10/15(金) 18:30～20:40 春日井市民会館 入場者 809人	一世を風靡した3アーティストによるトーク&ライブ。「22才の別れ」や「木綿のハンカチーフ」など、往年のヒット曲が演奏されると、会場は総立ちとなり、青春時代を取り戻したかのような観客らが、手拍子で大盛り上がりとなった。 出演／なごみーず（伊勢正三、太田裕美、大野真澄）	S 5,000円 A 4,500円
タンゴエモーション 共催：ハンプトンジャパン(株)	11/27(土) 16:00～18:00 春日井市民会館 入場者 330人	“鍵盤の魔術師”エンリケ・クッティニーニ氏率いる楽団によるアルゼンチンタンゴの公演。音楽に合わせて歌ったり手拍子をしたりと、会場全体を巻き込んだ演出がとても楽しく、クッティニーニ氏の陽気な人柄があふれるステージとなった。 出演／エンリケ・クッティニーニ楽団、ダンサー4人	一般 4,000円
人形劇俳優たいらじょうの世界 『よだかの★星』／『セロ弾きのゴーシュ』 宝くじ文化公演	12/11(土) 14:00～15:40 視聴覚ホール 入場者 188人 完売	宝くじの助成金により田原市文化会館と2館共同で開催。3回目となるたいら氏の公演は発売2日目にして完売。『セロ弾きのゴーシュ』では動物のいきいきとした表情が愛らしく、『よだかの★星』では手だけで表現するよだかの美しさに会場中が引き込まれた。 出演／たいらじょう	一般 1,000円
かすがい人形劇フェスティバル2010 共催：愛知県人形劇協会／春日井会場実行委員会	12/12(日) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30 視聴覚ホール 入場者 ①198人	市内4つのアマチュア劇団と2つのプロ劇団による人形劇公演。交流アトリウムにて工作体験教室を併催。 出演／（プロ劇団）人形劇団むすび座、人形劇団パン（アマチュア劇団）人形劇団とんとんとん、人形劇団じゃんけんぼん、人形劇団やまん	1回券 おとな 800円 こども 400円 1日券 おとな 1,500円 こども 700円

	②157人(おとな 195人・こども 160人)	ば、くれよんの会、人形劇団手風琴	
【関連企画】つくってあそぼう	12/12(日) 12:00~13:00 交流アトリウム	工作体験教室/くれよんの会、さくらぶんこ	入場無料
第18回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル 共催:春日井市高等学校吹奏楽協議会	12/19(日) 14:00~16:00 春日井市民会館 入場者 888人	市内7高校の吹奏楽部が一堂に会するコンサート。今回は、舞台制作セミナーを同時開催し、各校の代表者が本編の一部分を制作し、実際に運営した。 出演/春日井高等学校、春日井西高等学校、春日井東高等学校、春日井南高等学校、春日井商業高等学校、春日丘高等学校、高蔵寺高等学校	入場無料
とっておきのクリスマス	12/19(日) 17:30~19:00 交流アトリウム 入場者 310人	春日井児童合唱団によるクリスマスコンサート。小学生から高校生まで総勢85名の子どもたちによる、可愛らしく美しい歌声がアトリウムに響いた。 出演/春日井児童合唱団	入場無料
第27回新春民踊のつどい 共催:春日井民踊のつどい実行委員会	1/8(土) 12:30~15:30 市民会館 入場者 720人	市内民踊愛好団体による発表会。市内を中心に活動している会員が、日頃の研鑽の成果を發揮し、日本各地の民踊32曲を踊った。フィナーレには、全会派が舞台に集まり、「春日井よいとこ」を総踊りし、新年を華やかに飾った。 出演/豊勝会、豊愛会、豊成会、豊味会、豊味香会、豊味静会、豊淑豊会、豊味信会、やちよ会、豊成敏会、豊勝葉会、ちひろ会、梅雅香会、寿みれ会、ことぶき会、豊勝女会、豊鼓美会、坂下民踊保存会、豊香方会、ネオポリス民踊会、豊香笑会、豊紀美会、梅雅香会、豊道元会(全24団体)林豊司紀、村山豊勝善(太鼓)	入場無料

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> のだめ音楽会室内楽コンサートシリーズ 支援：文化庁（平成22年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業） </p>	①磯絵里子ヴァイオリンリサイタル	1/15（土） 14:00～16:00 視聴覚ホール 入場者 143人	「茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」全国ツアー中に登場したソリストたちによるリサイタル。無料の音楽公演には来ていただけるお客様の顧客流動を図るため、本格的なクラシック公演としては安く、気軽に購入できる価格を設定した。 また、舞台設営は、視聴覚ホールを平土間で使用し、お客様に、よりアーティストを身近に感じていただけるよう工夫した。	各公演 2,000円 3公演 セット券 5,500円
	②内田奈織ハープサイタル	2/12（土） 14:00～16:00 視聴覚ホール 入場者 134人	出演／①磯絵里子（ヴァイオリン）、宮谷理香（ピアノ）、②内田奈織（ハープ）、橋本岳人（フルート）、③高橋多佳子（ピアノ）	
	③高橋多佳子ピアノリサイタル	2/26（土） 14:00～16:00 視聴覚ホール 入場者 167人	プロアーティストを目指したきっかけ、学生時の生活やアーティストとしての今など、演奏者としての体験談を披露。 対象／春日丘高等学校吹奏楽部員 講師／磯絵里子（ヴァイオリン）	参加無料
	【関連企画】 アウトリーチ活動 支援：文化庁（平成22年度優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業）	1/14（金） 17:00～18:00 春日丘高等学校吹奏学部部室（練習室） 参加者 35人	「ハープ」という小学生には珍しい楽器を紹介し、子供たちが実際に「触れる」「演奏する」ことを体験し、お話しを交えたミニコンサートを開催。 対象／柏原小学校5年生 講師／内田奈織（ハープ）	参加無料
		2/3（木） ①9:35～10:15 ②10:55～11:35 柏原小学校 オープンルーム 参加者 136名	「タカちゃんのLet's Cooking」ポーランド留学経験のある高橋多佳子さんと思い出のポーランド料理を一緒に作りつつ、当時の思い出や体験談をお話した。 対象／ピアノを習っている小学生以上の親子 講師／高橋多佳子（ピアノ）	参加料 2,000円 （材料費込）
		2/13（日） 14:00～16:00 レディヤン春日井料理教室 参加者 親子9組		

<p>第 27 回民謡うたはじめ</p> <p>共催：春日井市民謡協会)</p>	<p>2/11(金・祝) 10:30~16:00 春日井市民会館</p> <p>入場者 206 人</p>	<p>市内民謡愛好団体による発表会。各地の民謡を愛し、謡い継いできた会員が、日頃の研鑽の成果を発揮し、日本各地の民謡 56 曲を謡った。オープニングとフィナーレには全会派が舞台に集まり、「春日井よいとこ」を謡ったり、「花笠音頭」を踊ったりした。また、ゲストコーナー、飛入りコーナー、会長・会主コーナーを設けるなどの工夫も凝らした。出演／民謡志千会、民謡須田会、民謡光揺会、民謡春日会、民謡藤源会、川崎龍美会、飛び入りコーナー5名</p>	<p>入場無料</p>
<p>財津和夫 LIVE& TALK2011</p> <p>共催：(株)エムズプロデュース</p>	<p>1/16 (日) 17:00~19:00 春日井市民会館</p> <p>入場者 884 人</p>	<p>「サボテンの花」「青春の影」などでお馴染みの財津和夫による、おしゃべりを交えたコンサート。往年のヒット曲から最新の曲まで、ファンならずとも楽しめる内容だった。コンサート終盤には、観客も総立ちして一緒に「心の旅」を歌う場面も見られた。</p> <p>出演／財津和夫 他</p>	<p>一般 5,500 円</p>
<p>ビリーバンバン コンサート</p> <p>共催：(株)エムズプロデュース</p>	<p>2/18 (金) 19:00~20:40 春日井市民会館</p> <p>入場者 585 人</p>	<p>坂本冬美がカバーした「また君に恋してる」で再注目されたビリーバンバンのコンサート。「白いブランコ」など 1960~70 年代のヒット曲を熱唱し、往年のファンを魅了した。</p> <p>出演／ビリーバンバン</p>	<p>一般 4,200 円</p>
<p>平成 22 年度春日井市優秀映画鑑賞推進事業「名作シネマ鑑賞会」</p> <p>共催：文化庁／東京国立近代美術館フィルムセンター 協力：コミュニティシネマセンター</p>	<p>3/8(火)~10(木) 春日井市民会館 延べ9回上映</p> <p>入場者 延べ1,071人</p>	<p>多くの人々に優れた映画を鑑賞してもらうため、文化庁と東京国立近代美術館フィルムセンターが日本各地の公立文化施設と連携・協力し、実施している同館所蔵映画フィルムの巡回上映会。春日井市では、平成 19 年度からスタートし、今年度で 4 回目。名監督と大女優の宿命的な出会いが生み出した至極の 4 作品を上映した。また、関連企画とし</p>	<p>一回券 500 円 一日券 1,200 円 回数券 1,600 円</p>

			てポスター展を開催し、事前の盛り上げを工夫した。 上映作品／ 「晩春」(1949年)「稲妻」(1952年) 「キューポラのある街」(1962年) 「華岡青洲の妻」(1967年)	
	【関連企画】 名作シネマ×ポスター展	3/1(火)～3/13(日) ギャラリー 入場者 1,429人	上映当時のポスターを一堂に集めて展覧会を開催。「小津安二郎×原節子」「成瀬巳喜男×高峰秀子」「浦山桐郎×吉永小百合」「増村保造×若尾文子」という名コンビで撮られた映画作品のポスター29点を展示し、監督と女優が歩んできた歴史を振り返った。	入場無料
	社会風刺コント集団 ザ・ニューズペーパー 共催：ハンプトンジャパン(株)	3/11(金) 18:30～20:30 春日井市民会館 入場者 413人	社会風刺コント集団「ザ・ニューズペーパー」によるエンターテイメント。ホットなニュースをネタに、コント・替え歌・ダンス・パントマイムなどを駆使し、爆笑ステージを繰り広げた。 出演／ザ・ニューズペーパー	一般 3,800円
かすがい芸術劇場	No.67 人形劇俳優たいらじょうの世界 「名作コメディ『シンデレラ！？』／新美南吉原作『ごんぎつね』」	4/4(日) 14:00～15:40 視聴覚ホール 入場者 192人 完売	「名作コメディ『シンデレラ！？』／新美南吉原作『ごんぎつね』」 07年の『毛皮のマリー』に続き、2回目の登場。R-15指定だった『毛皮のマリー』とは異なり、子どもと一緒に楽しめる演目を開催。親子連れで訪れる方も多く見られた。 出演／たいらじょう	一般 2,500円
	No.68 アルケミスト アコースティックライブ	10/24(日) 14:00～15:40 視聴覚ホール 入場者 147人	即興で曲を作る“歌の錬金術師”アルケミストによるアコースティックライブ。ピアノとボーカルだけというシンプルながらも、力強く心に響く音楽に涙する方も多かった。客席からの3つのお題をもらって即興で作詞作曲するコーナーも、曲の完成度の高さに会場が沸いた。 出演／アルケミスト	一般 2,500円

	No.69 古今亭菊之丞独 演会	2/27 (日) 14:00~16:00 視聴覚ホール 入場者 191人 <input checked="" type="checkbox"/> 完売	異例のひとり真打昇進を果たし、江 戸前落語に定評のある、人気落語家 菊之丞の公演。「幾代餅」「二番煎じ」 の二席で会場を沸かせた。 出演／古今亭菊之丞	一般 2,500円
か す が い 日 曜 シ ネ マ	ビヨンド the シー	5/30 (日) 入場者 午前 81人、午後 91人	「見ると舞台を観たくなる映画」を コンセプトに、「かすがい芸術劇場」 よりスピノフした新シリーズ。ス タッフが年間 30~40 作品を鑑賞し た上で作品選定していることが奏 功し、その良質なセレクションへの 評価が高まっている。スタッフが上 映前に行う解説も好評。また、毎回 午後の上映では、視覚障がい者のた めにセリフや情景をイヤホンで解 説する『シーン・ボイスガイド』を 行った。 上映時刻：①10:30~ ②14:00~ 上映場所：視聴覚ホール	一般 900円 ペア 1,700円 3回通し 2,500円
	モンテーニュ通 りのカフェ	7/18 (日) 入場者 午前 94人、午後 113人		
	ウォーダンス	9/26 (日) 入場者 午前 76人、午後 101人		
	チャンネル&スト ラヴィンスキー	11/28 (日) 入場者 午前 135人 <input checked="" type="checkbox"/> 完売 午後 134人 <input checked="" type="checkbox"/> 完売		
	ラヴェンダーの 咲く庭で	1/30 (日) 入場者 午前 127人 <input checked="" type="checkbox"/> 完売 午後 122人 <input checked="" type="checkbox"/> 完売		
	海角七号	3/27 (日) 入場者 午前 118人、午後 111人		
昼コン&夜コン	4月から12月まで月 2回、土曜日の昼と金 曜日の夜に開催(計 16回) 交流アトリウム 入場者 延べ 3,074人	お喋りを交えた気軽に聴ける無料 の手作りコンサート。主にクラシッ ク音楽を中心に開催したが、ジャズ やポップス、電子楽器での演奏など も取り入れた。 出演者は、中部地区で活躍する若手 演奏家を中心に招聘。その他、出演 希望者(プロフィール、演奏テープ の郵送にて受付)の中からテープ審 査等で決定。 毎回 200名近くのお客様にお越しい ただいた。	入場無料	

		来場者からは1口500円の協賛金を募り、88口(44,000円)が集まった。	
アトの祭り	夏:6/19(土)~20(日) 秋:9/11(土)~12(日) 冬:12/23(木・祝) 春:3/19(土)~20(日) 交流アトリウム 出演団体 延べ43団体 入場者 延べ2,675人	年4回、交流アトリウムで開催される市内外の音楽団体による発表会。インターネットでの申込みを昨年度より始めた。出演団体には「これまでの持参や郵送に比べ手間が省ける」と好評であった。	入場無料(運営協力費:5,000円/参加団体)
公立ホール中堅職員のための芸術経営セミナー	①2/2(水) 10:00-17:00 ②3/2(水) 10:00-17:00 視聴覚ホール 参加者 ①18人 ②19人	職務経験が3~10年程度の公立ホール職員を対象に、“公立ホールを運営する”ために何が求められているかを、ワールドカフェ方式のワークショップを中心とするセミナー。講師/草加叔也(空間創造研究所)、菱川浩二(多治見市文化会館)、中尾友彰(りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館)、川島健太郎(三重県文化会館)、水田圭司(M music Labo.)	参加無料
2010年度フロントスタッフ	活動公演数 33回 研修等 8日間 登録人数 32人 参加人数 延べ428人	鑑賞という形ではなく、裏方として自ら舞台公演に参加することで文化芸術に親しむことを応援する事業。また財団の事業方針や、舞台作りの裏側を研修で取り上げることで、同スタッフが市民として当財団の活動を理解し、支援して下さるような関係作りに努めた。	登録無料
名古屋芸術大学提携インターンシップ・プログラム	5/20(木)~11/18(木)のうち24日間 受入学生 1人	名古屋芸術大学でアートマネジメントを学ぶ学生(音楽ビジネス・ステージマネジメント選択コース4年生)を長期インターンとして受け入れ、自主事業と貸館事業の現場を体験してもらった。	

(4) 宣伝系事業

事業名称	日時・場所など	事業内容	入場料等
広報宣伝事業		自主事業の宣伝のみならず、当財団そのものを、より多くの市民に認知・理解・支援していただくための諸活動。	
文化情報プラザ運営	(毎日 9:00~20:00)	① 各種文化事業の情報提供 (チラシ等の配架や書籍・雑誌の閲覧、近隣美術館・博物館の収蔵品図録の閲覧) ② 各種文化事業のチケット販売 ③ 自主事業のPR ④ 書籍・図録の販売	
情報誌「FORUM PRESS」発行	(隔月 10,000 部)	当財団自主事業並びに文化フォーラム及び市民会館で行われる貸館事業などの情報を掲載した情報誌の発行。誌面構成を変更し、読み物・レビューを充実させた。	無料配布
ホームページ運営 (随時更新)		当財団の事業や施設案内、トピックス等をインターネット上で提供。施設の空き状況をホームページで検索できるようにした。また、ツイッターでの情報発信、双方向コミュニケーションを開始。	
友の会PiPi特別 企画「のだめフィルムコンサート」	4/16 (金) 14:00~16:00 視聴覚ホール 入場者 110 人 4/23(金) 18:30~20:30 三重県文化会館 中ホール 入場者 388 人	全国各地で披露してきた、のだめ音楽会の名曲&名スライドを上映するフィルムコンサートを軸としながら、弦楽四重奏やピアノの生演奏と映像をシンクロさせた。友の会会員、音楽関係者、マスコミ関係者などを招待し、ツアーに同行する財団スタッフが司会・進行を務め、のだめ音楽会の魅力と活動の意義を伝える構成とした。また、9月に三重県文化会館で開催した「のだめ音楽会」の一般向けプレイベントとして同公演を開催。当財団のパブリシティ、春日井市のシティセールスにつながった。	入場無料

<p>茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 全国ツアー</p>		<p>かすがい市民文化財団が全国に先駆けて行った同公演でその企画・運営力が認められ、全国ツアーを展開している。構成・演出・映像製作・舞台監督を当財団スタッフが務め、これまで行われた全公演に参加している。</p> <p>これにより、財団の企画運営力の向上と、パブリシティによる財団ならびに春日井市の認知度の向上を実現している。(58公演、延べ9万人動員)</p> <p>平成22年度ツアー一覧 4/30、5/1 兵庫県立芸術文化センター(西宮市) ※3回公演 5/2 加古川市民会館(加古川市) 7/27 長良川国際会議場(岐阜市) 7/31 8/1 春日井市民会館(春日井市) ※2回公演 9/23 三重県文化会館(津市) 3/13 堺市民会館(堺市) 3/17 広島市文化交流会館(広島市) 3/24 愛知県芸術劇場(名古屋市) 計11公演実施</p>	
<p>友の会事業</p>	<p>会員数 1,169人 新規入会者 416人 更新者 753人</p>	<p>情報誌送付のほか、主催事業のチケット優先予約や割引、各種特別企画の実施など各種優待サービスを行うことで販売促進を図る。また、購入金額に応じてポイントを発行し、割引サービスも実施し、リピート率向上を図っている。会員資格を入会日から1年間とし、レギュラー、ゴールド、プラチナの各会員を有料で募集し、会員数・更新率は毎年増加し続けている。</p>	<p>年会費 レギュラー 2,000円 ゴールド 3,000円 プラチナ 10,000円</p>

(5) 10周年事業

事業名称	日時・場所など	事業内容	入場料等
イメージキャラクター募集・決定	募集期間 8/3(火)～10/29 (金) 応募総数 636 点 (応募用紙 329 点) (Web 307 点) 一般投票期間 11/30(火)～ 1/16(日) 投票数 1,592 票	当財団設立 10 周年を契機として、より市民に親しまれる団体の象徴となるような、イメージキャラクターを募集。応募総数は 636 点 (市内応募 232 点)。内 6 点が一次審査通過、同通過者作品を対象に一般からの投票を受け、総数 1,592 票の内、490 票を獲得した伊勢哲也氏 (徳島県在住デザイナー) の作品を選出。 キャラクターグッズの販売や、ノベルティの無料配布などにより、キャラクターの知名度向上を図っている。	応募無料 販売グッズ一覧 ボールペン 230 円 クリアファイル 200 円 ポストイット 300 円 鉛 100 円 セット 900 円
Time Stroke 道風	9/17(金)～10/7 (木) 交流アトリウム デジタル書道体験 者数 587 人	書道になじみのない人にも気軽に文字の美しさや、書道の面白さを感じてもらおう体験型の展覧会。 出品作品は、小野道風の書体をデジタル作品として蘇らせた「タイムストロークフォント～じりゅう～」。 マウスを使ってデジタル書道を体験できる「VECTOR BRUSH SHODO」。 3次元空間に浮かんだ文字を観賞する「ON-BASHIRA」の3作品。 出品作家／西川貴(タイポグラフィ研究)	観覧無料
3Dアニメーション・ナイト!	10/8(金)～11(月・祝) ①18:00～②18:30～ ③19:00～④19:30～ ⑤20:00～ 交流アトリウム 入場者 712 人	アトリウムに仮設のシアターを作り、日没後、親子で楽しめるショートアニメーションを上映。普段の客層とは異なる層の取り込みに成功した。交流アトリウムではじめての有料公演であり、今後の施設利用の可能性を見出すきっかけとなった。また、会場周囲に10周年をPRする装飾を施し、財団設立10周年の宣伝を積極的に行った。 上映作品／ 「TREE ROBO」、 「3D ザウルスII」	300 円

<p>きろくのきおく ～ フォーラムプレスの 一万年～</p>	<p>12/4(土)～19(日) 10:00～17:00(土曜 日のみ午後8時ま で) ギャラリー</p>	<p>財団の事業を記録してきた情報誌 FORUM PRESS を基軸に、財団の10年、 および実施してきた事業を振り返る。 単なる記録を展示することだけでな く、これまで財団に関わったアーティ ストと一緒に、記録や記憶、思い出な どをキーワードに、過去の記録を演出 した展覧会。 【フォーラムプレスの一万年】 【きみの忘れ事について】 【記憶再生部屋】【こたつレコード】 監修/ 山田亘 (アーティスト/FORUM PRESS 表紙写真 撮影/名古屋芸術大学非常勤講師)、 村田仁 (詩人、第1回美系優秀出品者)、ほか</p>	<p>入場無料</p>
<p>ざわめきの森 一木 村崇人展—</p>	<p>2/11(金・祝)～ 3/13(日) 10:00～18:00 交流アトリウム 延べ約15,000人</p>	<p>交流アトリウムに“森”を出現させ、 アートと市民の出会いの場を演出。 偶然ふらりと訪れた人が森に迷い込 み、つい寄り道をしてしまうかのよう に、時を過ごす…。本展は遊びを通し てアートを体感できる空間を提供し た。 出品作家/木村崇人 (現代美術作家)</p>	<p>入場無料</p>
<p>LIVE in SKY FORUM</p>	<p>3/26 (土) ①12:30～13:30 ②15:30～17:30 スカイフォーラム 入場者 ①149人 ②229人</p>	<p>図書館に隣接した屋上庭園・スカイ フォーラムで開館以来初めてとなる ライブを行い、開放的な場所で市民 と芸術との劇的な出会いを演出。 屋上空間が、文化フォーラム春日井 の第3のホールとして利用可能であ ることを実証できた。 出演者/ ①: コトダマ×オトダマユニット「妄 想会議」(朗読付コンサート) ②: アン・サリー</p>	<p>① 入場無料 ② 3,000円</p>

号外フォーラムプレス	6,000冊作成 11月26日発行	<p>展覧会「きろくのきおく ～フォーラムプレスの一万年」のカタログとして、号外フォーラムプレスを発行し、展覧会来場者や関係者に配布。</p> <p>展覧会の解説書にとどまらず、これまでの財団の活動を、関係者の記憶を頼りに振り返る記念誌。</p>	無料配布
御招待キャンペーン		<p>当財団の活動を、これまでホールに訪れたことのない市民を含む、より多くの方に理解していただくため、財団主催・共催事業に招待するキャンペーンを実施。当選者には財団継続事業の“事業仕分け”をアンケート形式で行っていただき、今後の参考とした。</p> <p>①かすがい日曜シネマ「シャネル&ストラヴィンスキー」 7名招待（応募者7名）</p> <p>②人形劇俳優たいらじょうの世界 10名招待（応募者27名）</p> <p>③室内楽コンサートシリーズ「高橋多佳子ピアノリサイタル」 10名招待（応募者17名）</p> <p>④名作シネマ鑑賞会 6名招待（応募者6名）</p> <p>⑤ザ・ニューズペーパー春日井公演 10名招待（応募者18名）</p> <p>⑥財津和夫 LIVE&TALK2011 10名招待（応募者88名）</p> <p>⑦室内楽コンサートシリーズ「磯絵里子ヴァイオリンリサイタル」 10名招待（応募者19名）</p> <p>⑧室内楽コンサートシリーズ「内田奈織ハープリサイタル」 10名招待（応募者22名）</p> <p>⑨かすがい日曜シネマ「ラヴェンダーの咲く庭で」 10名招待（応募者22名）</p> <p>⑩かすがい日曜シネマ「海角七号」 6名招待（応募者6名）</p>	

2 受託文化事業

事業名称	日時・場所など	事業内容	入場料等
第 59 回春日井市民 美術展覧会	8/21 (土)～29 (日) 9:00～16:30 (最終日 16:00 迄) 市庁舎 10・11・12 階、ギャラリー、ギ ャラリーホワイエ、 視聴覚ホール 入場者 14,274 人 表彰式 8/29 (日) 14:00～15:00 交流アトリウム	市内在住、在勤、在学者を対象とし た公募展覧会。審査会員による参考 作品も同時に展示。 応募数／ 日本画 76 作品 洋画・版画 200 作品 書 375 作品 彫塑工芸 74 作品 写真 251 作品 参考作品 44 作品 賞／ 市長賞、財団理事長賞、教育委員 会賞、市議会議長賞、観光協会長 賞、奨励賞、委嘱特別賞	出品無料
第 30 回春日井市短 詩型文学祭	10/30 (土)～ 11/7 (日) 9:00～16:30 (最終日は 15 時まで) ギャラリーラウン ジ・附属室 入場者 1,497 人 表彰式 11/6 (土) 11:00～ 交流アトリウム	市内在住、在勤、在学者を対象とし て、文学活動の普及・振興を図るこ とを目的とした市民公募の文学祭。 部門／ 一般の部(短歌、俳句、川柳、狂俳、詩) 小・中学生の部(短歌、俳句、川柳、詩) 賞／ 市長賞、第 30 回記念賞、財団理事 長賞、市議会議長賞、教育委員会 賞、文化協会賞、秀逸、及び優秀、 佳作(小・中学生の部のみ) 応募数／15,436 作品 入賞作品数／816 作品 作品集販売部数／191 冊	出品無料 作品集 800 円

3 共催事業

事業名称	日時・場所など	事業内容	入場料等
小野道風公奉賛 第 62 回全国書道展 覧会（共催：春日井 市、春日井市教育委 員会、小野道風公遺 跡保存会、中日新聞 社）	<p>【春日井会場】 10/30(土)～11/7 (日) 9:00～16:30 (最終日は 15 時まで) ギャラリー、視聴覚 ホール、市庁舎、道 風記念館、観音寺</p> <p>入場者 6,517 人</p> <hr/> <p>【表彰式】 11/3 (水・祝) 10:30～ 市民会館</p> <hr/> <p>【名古屋会場】 11/16 (火)～21(日) 10:00～18:00 (金曜日は 20 時まで) 愛知県美術館 ギャラリーJ2</p> <p>入場者 537 人</p>	<p>日本 3 蹟の一人、小野道風の偉業を讃 え開催する全国公募の書道展覧会。 応募数／</p> <p>第 1 部(漢字) 190 作品 第 2 部(かな) 72 作品 第 3 部(近代詩文) 49 作品 第 4 部(少字数) 48 作品 第 5 部(小品) 15 作品 条幅の部 1,062 作品 半紙の部 5,318 作品</p> <p>展示場所／</p> <p>ギャラリー 市観光協会会長賞以上 視聴覚ホール 学生条幅の部 市庁舎 一般部、学生条幅の部 道風記念館 学生半紙の部・参考作品 観音寺 学生半紙の部</p>	<p>出品料 第 1～4 部 5,000 円 第 5 部 3,000 円 条幅の部 1,300 円 半紙の部 400 円</p> <p>入場無料</p>
春日井市民第九演奏 会 (共催：春日井市、 春日井市教育委員 会、2010 春日井市民 第九演奏会実行委員 会)	<p>12/5(日) 15:00～16:30 市民会館</p> <p>入場者 1,020 人</p>	<p>合唱もオーケストラも市民が演じる、 官学民連携による“第九”演奏会。 出演／ロレンツ・クリストフ・アイヒ ナー（指揮）、チョ・ヒョネ（ソプラ ノ）、大田亮子（アルト）、イー・ウォ ン・ヨン（テノール）、キム・ミン・ スク（バス）、春日井市民第九合唱団 （合唱）、春日井市交響楽団（オーケ ストラ）</p> <p>参加者／春日井市民第九合唱団 223 人、春日井市交響楽団 79 人</p>	<p>一般 1,000 円</p>